

アカデミック・リンク開設10周年記念シンポジウム
ポストコロナの時代における高等教育と
それを支える教育・学習支援

March 30, 2022

基調講演

パルマコンとしてのオンライン教育

岩切正一郎
国際基督教大学・学長

- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- パルマコンとしてのオンライン
- パルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

「ニューノーマル」について→配布資料

-Introduction
 -コロナ禍とコロナ以降
 -パルマコンとしてのオンライン
 -パルマコンがもたらしたもの
 -演劇性はどこへ
 -教育・学習支援のあり方

ICUにおける遠隔教育（コロナ前）

第 40 条
 (省略)

以下が新しく追加したもの

(授業の方法)

第 40 条の 2

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
 3 前項第 2 項の授業方法により修得する単位数は、60 単位を限度として卒業に必要な単位と認めることができる。

Article 40.
 (omitted)

(Method of Classes)

Article 40-2. Classes shall be held as lectures, seminars, laboratory experiments,

practicums or exercises, or as a combination of these methods.

2. The University may, in accordance with what is provided for separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, have students take the classes prescribed in the preceding paragraph from **locations other than the classrooms** in which the classes are held through **the use of diverse advanced media technologies**.

3. Credits earned through the method of classes prescribed in paragraph 2 may be counted as credits necessary for graduation for up to 60 credits.

ICUのホームページ
<https://www.icu.ac.jp/>

-Introduction
 -コロナ禍とコロナ以降
 -パルマコンとしてのオンライン
 -パルマコンがもたらしたもの
 -演劇性はどこへ
 -教育・学習支援のあり方



- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- バルマコンとしてのオンライン
- バルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

face to face
in person
présentiel

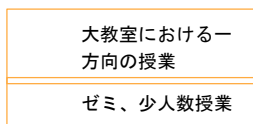
私立大学連盟の提言

『ポストコロナ時代の大学のあり方～デジタルを活用した新しい学びの実現～』
(2021年8月)

- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- バルマコンとしてのオンライン
- バルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

各私立大学は、**少人数教育**へ舵を切る努力をしてきた。実際にゼミをはじめとする多くの少人数授業が展開されるようになった。しかし、全員が**固定された教具によって一方向を向く**教室空間のデザインのあり方や、卒業までに充足しなければならない科目数の多さなどの制約もあり、依然として**大教室における一方向の授業**が多かった。このような授業では一人ひとりの**学生と向き合う**ことが難しく、**学修者本位の学び**が困難であった。しかし比較的多くの学生を教える授業であっても、対面とデジタルを組み合わせTAなどを投入することによって、**個別指導を实践**できる可能性を模索することができる。

対面



対面とデジタル

学生と向き合う学修者本位の学び
個別指導

ゼミ、少人数授業

The diagram shows two boxes. The left box is titled '対面' (face-to-face) and branches into '対話' (dialogue) and '一方通行' (one-way communication). The right box is titled 'オンライン' (online) and also branches into '対話' (dialogue) and '一方通行' (one-way communication).

- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- パルマコンとしてのオンライン
- パルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

face to face
in person
présentiel

online
remote
cours à distance

ジャック・デリダ(1930-2004)

「プラトンのパルマケイア」(1968)

プラトンの世界観

アイデア界 (不可視・永遠不動)	真実 (不可視)
現象世界 (アイデア界の反映)	魂に書き込まれている「真理」を想起する・知の発見
現象世界を写し取った芸術 (アイデア界の反映の反映)	声 (音声記号) * 音声記号を写し取った文字 (書記記号、エクリチュール, writing)

- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- パルマコンとしてのオンライン
- パルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

本
エクリチュール
Writing

書いた人がそこに
いなくても書物は
読者のもとへ行く。
読者が語りかけて
も黙っている。

非同期型（録画のアップ）
のオンライン講義

画面の中で喋っている人は
画面を通したその向こうに
はいない。視聴者が語りか
けても応答しない。

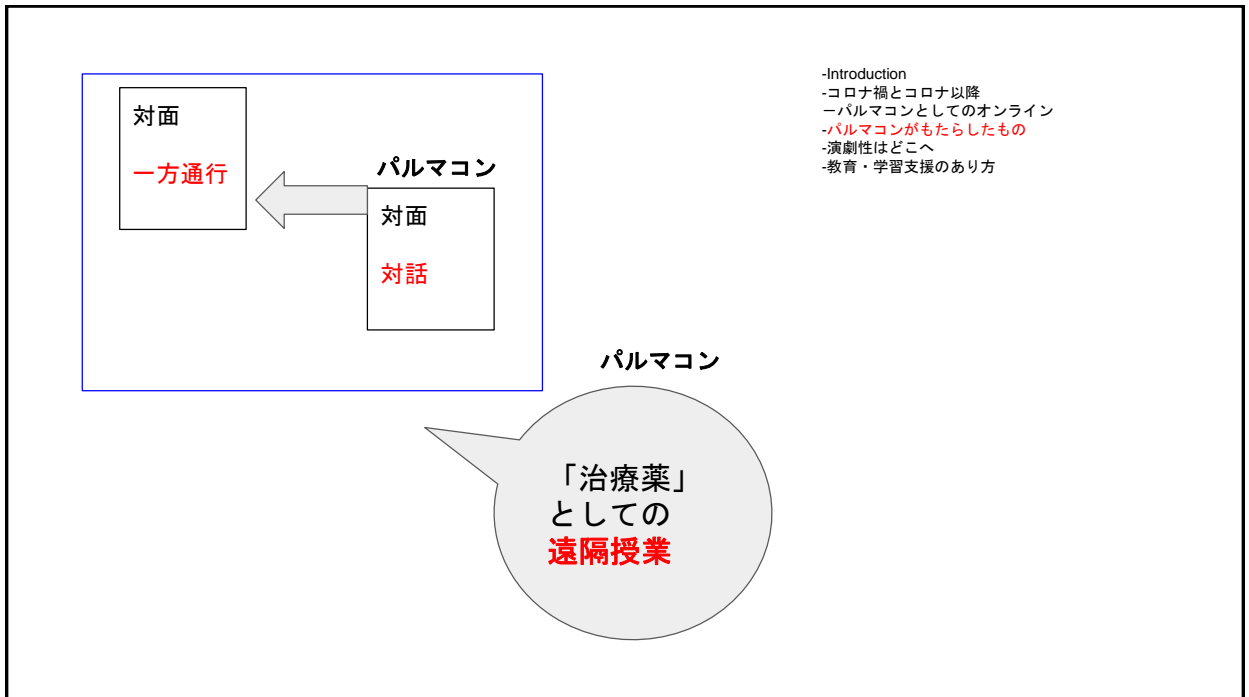
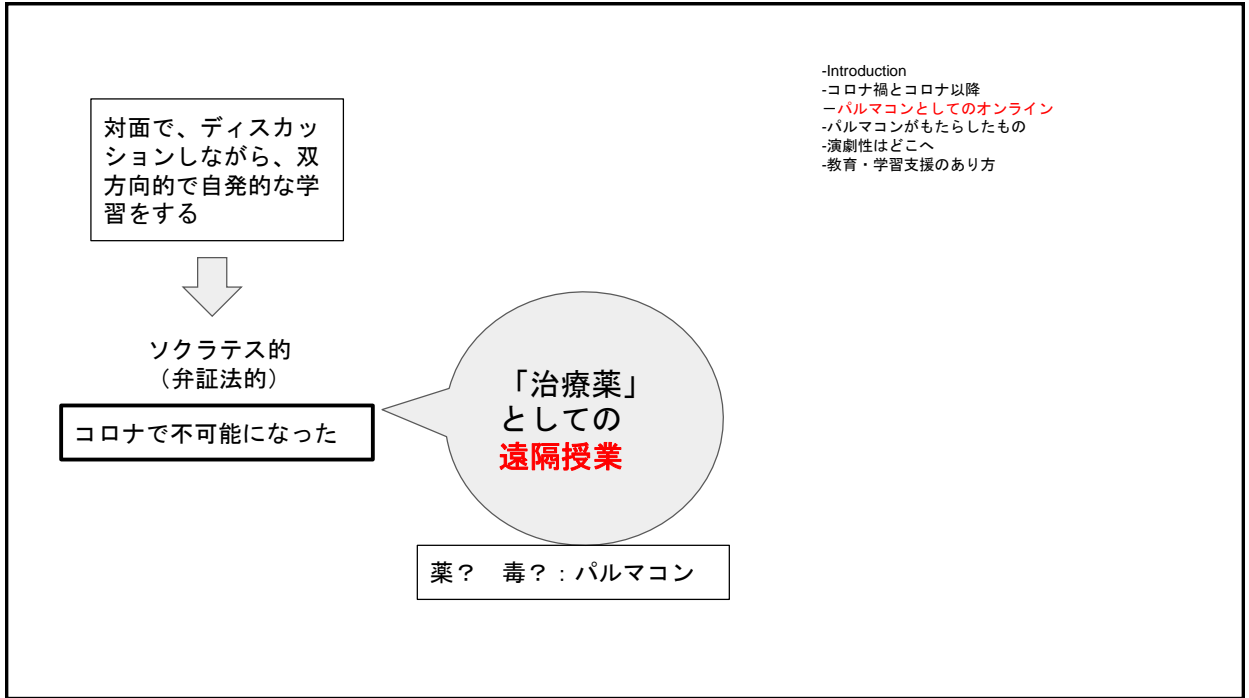
-Introduction
-コロナ禍とコロナ以降
-**パルマコンとしてのオンライン**
-パルマコンがもたらしたもの
-演劇性はどこへ
-教育・学習支援のあり方

オンライン

対話 一方通行

現前している（present）とは、どのよ
うな状態？

-Introduction
-コロナ禍とコロナ以降
-**パルマコンとしてのオンライン**
-パルマコンがもたらしたもの
-演劇性はどこへ
-教育・学習支援のあり方



パルマコンは薬でもあり毒でもある

-Introduction
 -コロナ禍とコロナ以降
 -パルマコンとしてのオンライン
 -パルマコンがもたらしたものの
 -演劇性はどこへ
 -教育・学習支援のあり方

オンラインが持っている可能性（良い効果）を知った

対面/一方通行

- ・速度は教員が決める
 （時間の支配）
- ・ノートを取らなくては反復できない。立ち戻れるのは配布資料のみ。
 （一回性の刻印）
- ・一回性のみせかけのもと、毎年同じ講義なら、じつは反復。
 （一回性の仮面）

オンライン/一方通行

- ・速度は学生が操作。
 （時間からの解放）
- ・どこへでも繰り返し立ち戻ることができる。
 （反復可能）

対面/対話型
 と
 オンライン/対話型
 の違いは？

-Introduction
 -コロナ禍とコロナ以降
 -パルマコンとしてのオンライン
 -パルマコンがもたらしたものの
 -演劇性はどこへ
 -教育・学習支援のあり方

対面の、一方通行の授業は、無意味なのか？



ライブ、身体性を伴った学術、
学生の反応に応じて変化する
講義

- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- パルマコンとしてのオンライン
- パルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

映像

一瞬の、反復不可能なものが、永遠化され、
フィルムの中かで反復可能なものとなる

その魅惑は、合理的なものというよりは、
魔術的なもの

- Introduction
- コロナ禍とコロナ以降
- パルマコンとしてのオンライン
- パルマコンがもたらしたもの
- 演劇性はどこへ
- 教育・学習支援のあり方

高等教育という時空で 何が生起することを われわれは求めているのか？

-Introduction

-コロナ禍とコロナ以降

-バルマコンとしてのオンライン

-バルマコンがもたらしたもの

-演劇性はどこへ

-教育・学習支援のあり方

デリダ

ロゴスには野蛮（sauvage:野生
的）なところがある。
それを人間は真理の秩序によって
支配し、手なずけた。

人間の思考のなかにあった
「曖昧な動物性」

個人のニーズに合わせた支援

社会のなかに埋もれていて、
「規範」の側にいる人には意識
されていないが、じつはそこを
改善すればより快適になる部分

大学の学習支援の在り方は
社会の柔軟性に対応している

-Introduction

-コロナ禍とコロナ以降

-バルマコンとしてのオンライン

-バルマコンがもたらしたもの

-演劇性はどこへ

-教育・学習支援のあり方

« Tel nom lu dans un livre autrefois, contient entre ses syllabes le vent rapide et le soleil brillant **qu'il faisait** quand nous le lisions. »

Proust, *Le Temps retrouvé*, Gallimard, « bibliothèque de la Pléiade », 1989, p. 463.

Such a name read in a book in the past, contains between its syllables the fast wind and the bright sun **that it made** when we **read** it.

Translated by DeepL.



Such a name read in a book in the past, contains between its syllables the fast wind and the brilliant sun **that it was** when we **read** it.

Google translation

Some name, read long ago in a book, contains among its syllables the strong wind and bright sunlight **of the day** when we **were reading** it. (*Finding Time Again*, translated by Ian Patterson, Penguins Books.)

「かつて本のなかで読んだある名前は、シラブルのなかに、その本を**読んでいたときに吹いていた**強い風や、そのとき**照っていた**太陽を含んでいる。」

(マルセル・プルースト, 『見出された時』 (鈴木道彦訳), 集英社文庫, p. 402.)

19

ご清聴ありがとうございました